

# 第39回 通常総会資料

2004年度事業報告

2005年度事業計画・予算



日時 2005年2月23日(水)

場所 小千谷 久米川店

東村山青年会議所

## 2004年度事業報告

- ・ 2004年度 第31代理事長 亀石 俊樹
- ・ 専務理事 佐々木 義徳
- ・ 総務・広報委員会委員長 恵面 晋文
- ・ 拡大会員交流委員会委員長 中條 基成
- ・ 経営開発委員会委員長 溝井 裕之
- ・ まちづくり委員会委員長 小山 雅由
- ・ ひとづくり委員会委員長 紺野 琢生
- ・ 副専務理事兼財務担当理事 井上 礎幸

# 理事長 報告

東村山青年会議所

第31代理事長 亀石 俊樹

---

2004年度東村山青年会議所は創立31年目の年でした。2003年に創立30周年を迎えた当会議所が、これからも輝き続けていくためには、考えるだけではいけない、闇雲に動くだけでもいけない、常に青年としての誠実を規範としながら考動することが重要との思いから『より輝こう 考動に誠実をのせて』というスローガンを掲げさせていただき、青年会議所運動を行いました。

2004年度は五委員会を設け、18回の例会を行いました。例会以外にも事業として東村山商工会青年部主催のふるさと祭りに、東村山音頭の保存と普及を目的とした「パラコン」の部で参加をし、また、東村山ミニバスケットボール連盟と共催でJCカップの開催をいたしました。

昨年は10年後の40周年に向けてのスタートの年という位置付けをし、メンバーの皆さんが青年会議所運動に邁進できるように、まず、個々の足元を固めようとの考えから、経営・経済という分野にも目を向けました。青年会議所メンバーはそれぞれが仕事を持ち、経済活動を行っています。当然のことながら、本業が順調でないメンバーは青年会議所運動に対して力を注ぐことに躊躇するところがあります。また、青年会議所に入会したら仕事がおろそかになったなどは本末転倒です。会員拡大という観点からも経営・経済の分野においても、青年会議所に入会すればスキルアップができるという流れを作りたいと考えました。様々な研修や講演会を通じて、仕事をはじめとする経営や経済の話題が会の中で豊富になってきたことは成果であると考えています。

ひとつづくりでは、当たり前な事を当たり前に行う、それを良い習慣として身につけ実践し続けることを目的に研修を行いました。また、同時に青少年の健全育成を目的としたわんぱく相撲等では中学生のボランティアにも積極的に参加いただき、異なる世代間で交流を持つことによって、青年会議所のあり方や存在意義をメンバーの皆さんが再確認できる場を作り出せたと思います。

まちづくりでは、中長期的なまちづくりの企画として、身近な市議会の仕組みを理解することにより、地方分権の流れがすすむ中で青年会議所の果たすべき役割や方向性を考え、これからの運動に活かすための気づきが得られたと考えます。

拡大においては新たに7名の仲間が増え、入会3年未満のメンバーが現役メンバーの過半

数を占めることとなり、良い意味で時代の移り変わりを感ずることとなりました。

新しいメンバーが多くなってきたことで総務・広報においても会の運営の仕方を多くのメンバーが知っている時代から、しっかりとした受け継ぎの必要性を認識した年となりました。

30年以上存続する企業は数%といわれます。東村山青年会議所は企業ではありませんが、31年という輝かしい歴史を持ち、これからも輝き続けていくためには、変わるべきことと変わってはいけないことを見分ける目を養い、時代に必要とされる団体でなければなりません。時には困難な問題が起こることもあるかもしれません。しかし、青年会議所メンバーであることの誇りをもって、2005年度、小島理事長を中心とした青年会議所運動に昨年以上の力をメンバーひとり一人が発揮していただきたいと思います。

最後に一年間お世話になりました、行政・関係諸団体の皆様、賛助会員の皆様、シニアクラブの先輩の皆様、そしてともに考動していただいたメンバーの皆様に心より感謝を申し上げます、2004年度東村山青年会議所、理事長報告とさせていただきます。

2004年度東村山青年会議所事業報告  
自2004年1月1日～至2004年12月31日

専務理事 佐々木義徳

[1] 総会・例会

日時	例会	担当委員会	会場
1月13日	第一例会・新年賀詞交歓会	拡大会員交流	ベルホール
2月10日	第一例会・人としての心のあり方を学ぶ	ひとつづくり	商工会館
2月25日	第二例会・通常総会	総務・広報	小千谷
3月10日	第一例会・Let's go 市議会!	まちづくり	市民センター
3月24日	第二例会・仕事の薬になる感動の7冊	経営開発	市民センター
4月16日	第一例会・4LOM合同例会	専務理事	清瀬市民センター
5月13日	第一例会・わんぱく相撲東村山場所	青少年	スポーツセンター
6月 6日	第一例会・東京ブロック会員大会	専務理事	
6月 9日	第二例会・東村山発!知恵と勇気のある社会	経営開発	市民センター
7月14日	第一例会・選挙例会	総務・広報 拡大会員交流	久米川幼稚園
7月28日	第二例会・より輝こう 心の豊かさをもとめて～新たなる価値観の創造	ひとつづくり	市民センター
8月25日	第一例会・臨時総会	総務・広報	市民センター
9月 8日	第一例会・市議会とまちづくりを考えよう!	まちづくり	市民センター
9月22日	第二例会・求められる企業経営者の資質	経営開発	市民センター
10月13日	第一例会・より輝こう 考動に“笑顔”をのせて…新人例会	ひとつづくり	市民センター
11月10日	第一例会・卒業生例会・Let's 考動! (4中ホリディネットワークとの協働を考える)	総務・広報	市民センター
11月24日	第二例会・次年度(引継ぎ)例会	拡大会員交流	商工会館
12月 4日	第一例会・2004年度卒業式 卒業生:松田龍一君、土田士朗君、目時恵美君、山口 浩君	総務・広報	ベルホール

## [2] 理事会

### \* (臨) 臨時理事会

会場 JC 事務局

- 1月21日 3月度第一例会「Let's go 市議会！」の件、3月度第二例会「仕事の薬になる感動の7冊」の件
- 2月18日 年間例会スケジュール変更の件、4月度第一例会「4 LOM合同例会担金支出の件、対内誌「egg」発行の件、2004年度名刺・名簿作成の件、2004年度スローガン垂れ幕作成の件、対外誌「八国山」発行の件
- 3月17日 5月度第一例会「第23回わんぱく相撲東村山場所」開催の件、免責部分の賠償責任保険加入の件、新入会員（片柳君、谷村君）承認の件、休会申し出の件、1月度第一例会「新年賀詞交歓会」の件、第15回東村山周回駅伝競争参加の件、2月度第一例会「人としての心のあり方を学ぶ」の件
- 4月14日 「第16回わんぱく相撲東京都大会」の件、6月度第一例会「第33回東京ブロック会員大会 町田大会」の件、6月度第二例会「東村山発！知恵と勇気のある社会」の件、新人会員入会の件、賛助会員拡大の件、免責部分の賠償責任保険加入の件、3月度第一例会「Let's go 市議会！」の件、2月度第二例会「第38回通常総会」
- 5月19日 7月度第一例会「選挙例会及びOB合同例会」の件、7月度第二例会「より輝こう 心の豊かさをもとめて～新たなる価値観の創造」の件、台中JC45周年式典等参加の件、ふるさとフェスタ後援及び東村山音頭パラパラコンテスト開催の件、休会申し出の件、賛助会員入会の件、台中JCウェルカムパーティー開催の件、3月度第二例会「仕事の薬になる感動の7冊」の件
- 6月16日 8月度第一例会「臨時総会」の件、第1回新人オリエンテーション「JCって何？ JCのここが知りたい」の件、『東村山JCカップ2004』共催の件、4月度第一例会「4 LOM合同例会」分担金支出の件、5月度第一例会『第23回わんぱく相撲東村山場所』の件
- 7月14日 (臨) 7月度第一例会「選挙例会」開催時間と予算変更の件、役員の補充選任（監事）の件
- 7月21日 2004ふるさと祭り協力及び東村山音頭パラパラコンテスト開催の件、「第9回北山わんぱく夏祭り」後援の件、9月度第一例会「市議会とまちづくりを考えよう！」の件、9月度第二例会「求められる企業経営者の資質」の件、6月度第一例会「第33回東京ブロック会員大会町田大会」の件、「第16回わんぱく相撲東京都大会」の件
- 8月 9日 (臨) 2005年度理事長所信（案）、2005年度組織図（案）
- 8月18日 10月度第一例会新人例会『より輝こう 考動に“笑顔”をのせて…』の件、2005年度理事長所信（案）、2005年度組織図（案）、6月度第二例会「東村山発！知恵と勇気のある会社」の件
- 9月15日 11月度第二例会「次年度例会」の件、第1回オリエンテーション「輝けるJayceeを目指して！初めの一步」の件、台中JC45周年式典参加の件、2004ふるさと祭り協力

- 及び東村山音頭パラパラコンテスト開催の件、「東村山 JC カップ 2004」共催の件
- 10月20日 11月度第一例会「卒業生例会」の件、2004年度卒業生承認の件、12月第一例会「卒業式」開催の件、卒業記念アルバム作成の件、JCI セネター会員推薦（土田士朗）の件、「第18回東村山車いすミニマラソン」後援の件、「第5回地蔵まつり」後援の件、賛助会員承認の件
- 11月17日 褒賞委員会構成メンバーの件、9月度第一例会「市議会とまちづくりを考えよう！」の件、9月度第二例会「求められる企業経営者の資質」の件、10月度第一例会「より輝こう 考動に“笑顔”をのせて」の件
- 12月 4日 （臨）新入会員（早川 真君、佐々木 浩君）承認の件
- 12月15日 退会者件、10月度第一例会新人例会「より輝こう 考動の笑顔をのせて」の件、11月度第一例会卒業生例会の件、11月度第二例会次年度（引継ぎ）例会の件、12月第一例会「卒業式」の件、対内紙「e g g」発行の件、「卒業アルバム」作成の件

### [3] 特別事業・行事

- 1月 7日 東村山市長、教育長、市議会議長、各団体表敬訪問
- \*東京ブロック内各LOM新年賀詞交歓会出席
- 1月11日 第15回東村山周回駅伝競争大会
- 1月13日 東京ブロック公式合同訪問・名刺交歓会 コンチネタル東京ベイ
- 1月15日 東村山ロータリークラブ新年挨拶 八坂神社  
東村山市商工会青年部新年会 商工会館
- 1月16日 東村山市文化協会新年会 割烹 あづま
- 1月20日 東村山市商工会 合同表彰式 新年会 市民センター
- 1月24日、25日 京都会議
- 1月24日 東村山市ゲートボール連合会新年会 富士見憩いの家
- 2月 7日 東村山 JC シニアクラブ通常総会・新年会 割烹 あづま
- 2月 8日 関東地区協議会第1回会員会議所会議、水戸全国大会主管締結式  
水戸事務所開き 於：水戸
- 4月16日 シニアクラブ4月度例会「今、東村山を考える！」 市民センター
- 4月24日 社協大会 東村山市中央公民館
- 5月 9日 東村山市市制40周年記念式典 1 中央公民館ホール
- 5月27日 4LOM合同理事会
- 6月 6日 東京ブロック会員大会 玉川学園
- 6月 6日 東村山市国際友好協会 インデペンデンス市学生来日ウェルカムパーティー  
市民センター別館
- 6月27日 第16回わんぱく相撲東京都大会 両国国技館
- 7月2日～4日 台中JC45周年記念式典等参加

7月11日	東京ブロック協議会 「全会員のための交流事業」	ミズノフットサルプラザ調布ほか
7月31日	国分寺JC 「野外音楽祭」	国分寺駅北口
8月 1日	第9回北山わんぱく夏祭り	北山公園
8月27日	シニアクラブタ「涼み会」	浅草 屋形船
9月 4日	むさし府中 JC35 周年記念式典	府中の森芸術劇場
9月11日	多摩 JC30 周年記念式典	サンリオピューロランド
9月11日	立川 JC35 周年記念式典	昭和記念公園
9月11日	東村山市国際友好協会 25 周年記念式典	フォレストイン昭和
9月30日～10月3日	全国大会・水戸大会	
10月14日	シニアクラブ例会・現役合同例会	一翠
10月16日	6中「地域に学ぶ会」	第6中学校
10月25日	「さよならブロック東京ブロック協議	パレスホテル
10月27日	第1回オリエンテーション	市民センター
10月29日	4LOM スポーツ交流事業	東大和BIG BOX
11月 3日	地藏祭り	正福寺
11月 3日	秋の緑の祭典	全生園
11月20日	会員会議所会議及びさよなら関地区	箱根プリンスホテル
11月21日～26日	JCI 国際青年会議所世界会議 福岡大会	
12月11日	東村山 JC シニアクラブ 総会並びに忘年会	ベルホール

\* この一年、メンバー皆様の暖かなご支援、ご協力頂きありがとうございました。



# 総務・広報委員会 事業報告

委員長 恵面 晋文

---

## ◎ 事業報告

2004年度の総務・広報委員会は総務として東村山青年会議所の運営が円滑・公正・合理的に行われること、広報として東村山青年会議所・委員会活動・メンバー個人を正しく理解し、会員の皆様により東村山青年会議所について知って頂くことを目的として活動してまいりました。まず総務活動におきまして、LOMが効率よく活動するため名刺・名簿・スローガン垂れ幕を作成し、通常総会・選挙例会・臨時総会・卒業生例会・卒業式を開催致しました。広報活動におきましては、年1回の対外誌「八国山」、年2回の対内誌「egg」を発行致しました。

最後になりましたが、私自身初めての委員長職を仰せつかり、一年間いろいろな勉強、貴重な体験をさせて頂きました。心より感謝申し上げます。皆様ありがとうございました。

## ◎ 事業内容

- (1) 2月度 第二例会 「通常総会」の開催
- (2) 7月度 第一例会 「選挙例会」の開催
- (3) 8月度 第二例会 「臨時総会」の開催
- (4) 11月度 第一例会 「卒業生例会」の開催
- (5) 12月度 第一例会 「卒業式」の開催
- (6) 対内誌「egg」の発行
- (7) 対外誌「八国山」の発行
- (8) 名刺・名簿・スローガン垂れ幕の作成
- (9) 卒業アルバムの作成
- (10) ホームページの作成・更新

# 拡大会員交流委員会事業報告

委員長 中條 基成

---

## ◎事業報告

2004年度の拡大会員交流委員会は、減少傾向にある会員の拡大と東村山青年会議所内外との交流を促進することを目的に1年間JC運動を行いました。

会員交流では、一月の新年賀詞交歓会にて、沢山の方々にお越し頂き2004年度の東村山青年会議所の進むべき方向を発表しました。また、友好JCの台中JC45周年をお祝いして、シニアクラブと一般参加者に参加して頂き、訪問事業を行い27年間の友好に新たな絆を深めました。国際的な組織であることを改めて自覚する貴重な機会でした。

更に今年度は、シニアクラブの例会に参加することとなった「OB交流例会」を担当してシニアクラブとの交流を深めました。

11月には、今年度の例会担当委員長より次年度担当者への引継ぎ例会を行いました。単年度制の問題がありますが、事業の継続性・関連性をもたせて、より掘り下げた事業ができるよう効果のある引継ぎ例会を目指しました。

拡大としての目標メンバー15名達成は叶いませんでしたが、将来の東村山青年会議所を担うメンバーの拡大が出来たことと、次年度新年早々からの入会予定者を探し出せたことが大変よかった事と思いました。

最後になりましたが、身勝手な自分を支えてくれたメンバーやご指導ご協力して下さった皆様のお蔭で、日々精進できたことに感謝致します。ありがとうございました。

## ◎事業内容

- (1) 1月度第一例会「新年賀詞交歓会」開催
- (2) 台中JC来訪ウェルカムパーティー開催（4月22日・23日）
- (3) 台中JC45周年訪問事業実施
- (4) 東村山JCシニアクラブ例会「OB交流例会」担当
- (5) 11月度第一例会「次年度（引継ぎ）例会」開催
- (6) 新入会員7名の拡大

# 経営開発委員会事業報告

委員長 溝井 裕之

---

## ◎事業報告

2004年度、亀石理事長の事業方針によって生まれた経営開発委員会では合計3回の例会事業を行いました。まず、3月の例会『仕事の薬になる感動の7冊』では、7人のメンバーがそれぞれのビジネスや職場において役立つ本を選び紹介しました。この例会の目的は、まず委員会メンバーのビジネス書に対する理解力とそれを発表するための表現力を養う事。そして、例会参加者には、スキルアップにつながる本を選ぶ大切さを認識してもらう事でした。例会当日の最後にはアンケートを行い、参加者のほとんどが『本を読むことの大切さ』を実感して頂きました。

6月の例会『東村山発！知恵と勇気のある会社』では、地元東村山市で事業を行っている株式会社遠藤製館 遠藤社長と株式会社ロンド・スポーツ 隅屋社長を講師としてお招きし、企業理念についての講演と東村山の活性化や社長業についてパネルディスカッションを行いました。当日は、創業者とそして後継者という異なる側面から大変貴重な話を聞くことが出来、参加者にも大いに満足して頂きました。

9月の例会『求められる企業経営者の資質』では、りそな銀行東村山支店 牧山支店長を講師としてお招きし、自ら考える企業経営者の理想像と銀行が求める理想像についてディスカッションを行いました。以上の3回の例会事業により『J Cから仕事を学ぶ』経営開発が出来たと思っております。

## ◎事業内容

- (1) 3月度第二例会 『仕事の薬になる感動の7冊』
- (2) 6月度第二例会 『東村山発！知恵と勇気のある会社』
- (3) 9月度第二例会 『求められる企業経営者の資質』

# まちづくり委員会事業報告

委員長 小山 雅由

---

## ◎事業報告

2004年度まちづくり委員会は中長期的なまちづくりの企画として、行政が目指しているまちづくりを検証し、JC運動に合致するものは何か、また実際JCで関与出来るものがあるとすればどんなことかを研究し、実施の可能性を探究してまいりました。

3月度第一例会では渡部尚市議会議員との対談、関心のある一般質問を定めて3月定例会を議会傍聴し、内容や感じたこと及び議会の運営方法・請願・要望案件の流れ等を発表しました。そして渡部尚市議会議員を講師としてお招きし、東村山市の課題と展望を中心に講話をして頂きました。

9月度第一例会では各常任委員長（山川昌子・福田かづこ・荒川純生・鈴木忠文議員）をお招きし、常任委員会の活動内容を発表して頂きました。また委員会メンバーが議事進行役となり、テーブルディスカッションを行い、メンバーに発表して頂きました。

7月は東村山音頭の保存と普及を目的とした東村山音頭パラコンを、山口浩君がパラコン実行委員長として、東村山市商工会青年部主催の市制40周年記念「2004ふるさと祭り」にて行いました。昼間の暑い時間帯で開催されましたが、暑さを吹き飛ばす大変な盛り上がりを見せました。そして宮崎孝雄青年部長を始めとする商工会青年部の皆様と共に運営及び設営が出来たことも、両団体の親交をより一層深めました。また、ボランティアとして第四中学校の生徒さん（20名参加）にも、お手伝い頂きました。

一年を通して2回の例会と1回の対外事業の中で、亀石理事長の所信に基づいたことが出来たことを嬉しく思います。私をまちづくり委員会委員長に選んで頂いた亀石理事長に感謝申し上げます。最後になりますが、まちづくり委員会を陰で支えて頂いた安永副理事長並びに仕事が忙しいにも関わらず、無理して頑張ってくれた委員会メンバーの皆様、一年間ありがとうございました。

## ◎事業内容

- (1) 3月度第一例会「Let's go 市議会！」
- (2) 9月度第一例会「市議会とまちづくりを考えよう！」
- (3) 東村山音頭の保存と普及

# ひとつづくり委員会事業報告

委員長 紺野 琢生

---

## ◎事業報告

2004年度ひとつづくり委員会は、理事長所信に基づき、当たり前のことを当たり前に行える、ひいては良い習慣を身につけ実践できるひとつづくりを目的に活動して参りました。

研修の部分では、ひととして、Jayceeとして、輝ける人材の育成、そのための心のあり方の学びと実践として、“こころ”をキーワードにした2回の例会を行いました。わんぱく相撲やJCカップなど、青少年の健全育成を目的とした事業においては、子どもたちに思い出作りの場を提供し、また共に感動を共有しました。新たに募集した中学生ボランティアの活躍で世代間交流のサイクルも創ることが出来ました。

また、5名の新入会員とともに作り上げた新人例会では、豊かなこころの基本でもある“笑顔”をテーマに、新人が結束してすばらしい発表を行いました。新人だけではなく全メンバー対象に行ったオリエンテーションでは、JCの目的や使命、組織について、講師の熱い思いとともにメンバーに伝えることが出来ました。

担当事業も多く、大変な委員会でしたが、委員会メンバーを始め全メンバーのご指導・ご協力を頂き、一年間活動できました。ありがとうございました。

## ◎事業内容

- (1) 2月度第一例会『“ひととして”のこころのあり方を学ぶ』
- (2) 5月度第一例会『第23回わんぱく相撲東村山場所』
- (3) 7月度第二例会『より輝こう 心の豊かさを求めて』
- (4) 10月度第一例会新人例会『より輝こう 考動に“笑顔”をのせて』
- (5) 第16回わんぱく相撲東京都大会参加
- (6) 東村山JCカップ2004共催
- (7) 第1回オリエンテーション『輝けるJayceeを目指して!』

## 2005年度事業計画・予算

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ・ 2005年度 第32代理事長 | 小島 広明  |
| ・ 副理事長           | 佐々木 義徳 |
| ・ 副理事長           | 中條 基成  |
| ・ 副理事長           | 安永 健司  |
| ・ 副理事長           | 稲田 盛栄  |
| ・ 専務理事           | 小山 雅由  |
| ・ 拡大会員交流委員会委員長   | 紺野 琢生  |
| ・ まちづくり委員会委員長    | 花澤 雅俊  |
| ・ 総務・広報委員会委員長    | 唐澤 貴   |
| ・ 青少年委員会委員長      | 井上 礎幸  |
| ・ 指導力委員会委員長      | 村越 久美子 |
| ・ 副専務理事          | 荻野 健治  |
| ・ 副専務理事兼財務担当理事   | 恵面 晋文  |

# 理事長 所信

東村山青年会議所

## 第32代理事長 小島 広明

バブル崩壊後十数年を経過し、景気は底を打って回復傾向にあるという見方もされていますが、地域や業種・企業によって受け止め方は様々ではないでしょうか。社会を見まわしてみると、インターネットのチャットの書き込みによるトラブルから、小学生が同級生の命を奪ってしまうなどの青少年事件や、隣人とのトラブルから地域住民を多数殺害するといった凶悪事件などが、マスコミに取り上げられています。我々の住む東村山でも、通学時に安全のため親が子どもを途中まで送迎し、地域の自動車や自転車がパトロール中と掲示し走行しなければならないような事が起きています。なぜこのような社会になってしまったのでしょうか。

原因の一つとして、電車の中で騒いでいる子どもを注意すると、注意したほうが逆に親から悪く言われたりするなど、多くの大人が自由には権利と義務があることを忘れていることがあげられると思います。結果として、その子どもたちも同じような大人になっていきます。このまま、権利だけを主張する人が増加していくことが良いのでしょうか。我々は社会のルールに従った上で、自由に発想し行動することで義務が果たせます。現在の日本では、多くの大人が経済活動優先の生活に慣れ、自己利益追求のために効率化を追い求め、効率化を理由にして本来人として必要な心の余裕まで、置き去りにしてきてしまったのではないのでしょうか。そのため、人が果たさなければならない義務まで、忘れ去られようとしています。心には余裕、すなわちゆとりを持つことが必要です。行動の中に心のゆとりを持つことによって自分のまわりに目が向き、子どもたちが何を考えているか、まちがどうなっているかが見えてくると思います。今我々がまちのためにやらなければならないことに気づくためにもゆとりを持った大人が増えることが必要です。

### 心のふれあい

では、人はどのような時にゆとりを感じるのでしょうか。緑あふれる自然の中にいる時、趣味のことをしながら過ごしているとき、普段ふれあうことの少ない親子が同じ事をして過ごしている時など、人それぞれ感じる時は違います。しかし人は人とのふれあいによって、ゆとりを一番感じることはできるのではないのでしょうか。ゆとりがなければ、周りの人々に思いやりをもって接することもできません。人はまちの中でふれあい互いに助け合いながら生き、周りの人々に生かされています。そのことをもっと意識して生活していくべきではないのでしょうか。人と人とのふれあいこそが心のふれあい、心のゆとりへとつながるものと考えます。

## 子どもとのふれあい

2005年度東村山青年会議所は、多くの大人が子どもたちとふれあえる機会を積極的に創りだして行きます。忙しさに追われて子どもたちとふれあうことの少ない大人に、機会を提供することにより、大人が子どもたちと気軽にことばを交わせるまちに変わり、青少年の非行を軽減させることにもつながると考えます。子どもは大人の真似をして成長すると言われます。子どもの姿は大人の行動を映す鏡であるとの認識に立ち、大人こそ行動に責任と自覚を持たなければならないという想いを、ふれあいの中から創りだすことができればと考えます。

## まちとのふれあい

自分の住むまちで行われているいろいろなことに参加し、そこに参加されている人とふれあいを持つことが必要です。誰かがまちのことをしてくれるから任せてしまおうと思いませんか。限られた時間を有効に活用し積極的にまちの活動に参加することで、人と実際にふれあうことが何より大事だと考えます。そのことが我々の住むまちを良くしていくことにつながると考えます。

## 新たなふれあい

全国的にJCメンバーの減少が顕著です。我々東村山青年会議所においても例外ではありません。青年会議所の定款に40歳卒業とある限り、常に会員拡大を続けなければ、JC運動を継続できません。会員数の減少はJC運動の可能性の減少でもあります。LOMメンバーが一丸となり会員拡大に取り組むことが緊急の課題です。新入会員とのふれあいが、さらなる青年会議所運動の増強につながるものと考えます。また、青年会議所運動を応援していただける賛助会員を拡大することにより、我々の運動をまちから広く深くご理解とご協力をいただけることにもなります。

## 会員相互のふれあい

メンバーの皆さんは、何を目的に青年会議所に入会したのでしょうか。多くの友人をつくる、まちのために役に立つ人間になるなど、理由は様々であると思います。そのなかで、自己の資質を向上させ人間的魅力を磨きたい、という目的を持っているメンバーは多いのではないのでしょうか。青年会議所は、自ら積極的に参加すれば、自己を磨き続けられる場です。貴重な時間を有効に活用し、自己修練を積み重ね、そのことを企業の経営やまちづくりに活用し、ゆとりある人生を送るための一助にしていきましょう。

青年会議所の中では、「まちづくりはひとづくり」と言われています。我々の運動を通して、未来の大人が緑あふれ、心のふれあう我がまち東村山で暮らし、子育てを行いたいと思ってくれるまちを目指して頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、関係諸団体の皆様、シニアクラブ先輩諸兄、東村山青年会議所メンバーの皆様、微力ではありますが一生懸命務めさせていただきますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



## 年間計画

1. 会員・賛助会員の拡大
2. 会員資質の向上
3. 中・長期的なまちづくりの調査・企画・実践
4. わんぱく相撲「東村山場所」の開催
5. 東村山J Cカップの共催
6. 東村山音頭の普及と保存
7. 家族例会の開催
8. シニアクラブ及び会員相互の交流・親睦
9. 対外誌「八国山」・対内誌「E G G」の発行

# 副理事長方針

副理事長 佐々木 義徳

---

2005年度東村山青年会議所は、第32代小島広明理事長が掲げます「未来に向けて 気づこう！ふれあいのまち」をスローガンに活動致します。

副理事長として理事長を補佐させていただくとともに拡大・会員交流委員会、まちづくり委員会を担当し、両委員会とともに一年間活動してまいります。

急務の課題である会員の拡大については、紺野琢生委員長率いる拡大・会員交流委員会が「人と人とのふれあい」・「新たなるふれあい」をテーマに会員相互のネットワークの構築を図り、会員の拡大に努めます。また、花澤雅俊委員長率いるまちづくり委員会では「まちとのふれあい」をテーマに未来に向けて時代を担う子供たちがまちへの愛着を持てるような事業を展開してまいります。両委員会には、「ふれあい」をキーワードとして、より良い豊かな社会づくりのための活路を見出せるような事業ができるものと期待し、担当の副理事長として両委員会をしっかり支援させていただきます。

この一年、さまざまなふれあいをおし、人そしてまちが未来に向けて、ゆとりある豊かなまちとなるよう微力ではありますが精一杯努めさせていただきますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 副理事長方針

副理事長 中條 基成

---

2005年度は、理事長の補佐役である副理事長の役職を頂き、重い責務である事を自覚すると共に、預かる事となった唐澤委員長率いる総務広報委員会を小島理事長の所信に基づき運営・運動するよう気持ちを引き締めてサポートします。

“未来に向けてきずこう！ ふれあいのまち”のスローガンを自覚して、このまちの将来にふれあいの機会が増えることを希望して総務広報委員会の出来る事を委員長と共に考えます。

唐澤委員長としては、初めての委員長で今までの立場よりも更に大変なことが多いと思います。しかし、持ち前の几帳面な性格と委員会メンバーに対する包容力で実力を遺憾なく発揮し東村山青年会議所の為に事業をすることと期待しています。

また、例会運営に関しては、総務広報委員会としてミスのない運営に心がけ、会員交流の柱となる対内誌エッグの発行や対外的な広報誌の八国山やホームページを唐澤委員長率いる2005年度総務広報委員会の特徴を出しながら運動をすることと思います。

変えなければならないものと変えてはならないものを理解して、青年としての気概を持ちながら、前向きな変化の創造を希求し情熱を持って行動します。

一年間、東村山青年会議所の為になるよう皆様をLOMを東京ブロック協議会をそして、日本青年会議所を巻き込みたいと考えますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

## 副理事長方針

副理事長 安永 健司

---

2005年度、副理事長として、井上委員長率いる青少年委員会を担当させていただきま  
す。小島理事長の所信にもあります「ふれあい」をキーワードに1年間活動して参りますの  
で、よろしく願いいたします。

私たち東村山青年会議所の活動の場である地域とは、世代から世代へ脈々と引き継がれて  
いくから存在します。次代の担い手である子供たちは地域の宝であり、私たちは子供たちに  
未来を託します。2005年度東村山青年会議所は小島理事長の掲げるスローガン「未来に  
向けてきずこう！ふれあいのまち」のもと、多くの大人が子供たちとふれあえる機会を積極  
的に創りだしていきます。地域を舞台にして、大人と子供がふれあう事で地域を愛する心の  
育成、人や物を大切にす思いやりの心を育てる活動を行って参ります。

また「わんぱく相撲東村山場所」「東村山J.Cカップ」など、今日まで地域の皆様と私た  
ちの先輩が築き上げてきた青少年事業を再確認し、更に意味ある事業にしていかなければな  
りません。地域の一員として子供たちとふれあい、自らも学んでいきたいと思ひます。

井上委員長をはじめとする青少年委員会メンバーと共に汗をかき、頑張っ参りますので、  
会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 副理事長方針

副理事長 稲田 盛栄

---

毎日のように、報道される凶悪な犯罪、幼児虐待、自然災害、超高齢化社会の到来、少子化、年金、増税等日本が抱える様々な諸問題が2004年は顕著に浮き彫りになりました。

私が特に危惧するのは社会の中で一番の弱者、幼児がターゲットとなる事件が頻発していることです。なぜ、子供達を守れないのでしょうか。守ってあげられないのでしょうか。我々の常識を逸脱している人間がこの日本に少なからずいます。現在置かれている、日本の状況下で、小島理事長のスローガン「未来に向けてきずこう！ ふれあいのまち」のもと、私は、ふれあいのまちを実践することで、すこしでも良い状況に向かうよう、子供達を守る社会を築くための礎と成るべくJC運動を行いたいと思います。

また2005年度は、指導力委員会を担当させていただきます。村越委員長は「積極的変化の創造」を軸に委員会一丸となってメンバーを触発していくと思います。ご自分を振り返っていただき、そして成長できるような仕掛け作りを一年間通して行うことと思います。私自身も触発されつつ、勉強していく次第です。そして小島理事長と、委員会のパイプ役として誠心誠意努めさせていただきますので、皆様のご指導ご鞭撻の程、心よりお願い申し上げます。

# 専務理事方針

専務理事 小山 雅由

---

本年度、小島理事長のスローガン「未来に向けてきずこう！ ふれあいのまち」のもと、専務理事として小島理事長を補佐し、LOMの円滑な運営と地域に根ざし、必要・信頼される青年会議所運動を目標に一年間頑張っております。また、関係諸団体の皆様と懇親を深め、青年会議所運動にご支援、ご理解を頂けるように努めてまいります。

本年度は二名の副専務理事と共にLOMの運営を行っております。荻野健治君には出向メンバーの窓口となってLOMの円滑な運営並びに私の行き届かない庶務をお願い致します。恵面晋文君には財務を兼務して頂きながら、より良いLOM運営の為の協力並びに庶務をお願い致します。

最後に両副専務理事と共に、誠実・礼節・努力・団結・笑顔を忘れず、一年間頑張っておりますので、皆様からのご指導、ご鞭撻並びにご協力の程宜しくお願い申し上げます。

# 拡大・会員交流委員会事業計画

委員長 紺野 琢生

---

## ◎ 事業計画

2005年度、拡大・会員交流委員会は青年会議所の目指す“積極的変化の創造”その具体的手法としての“明るい豊かなまちづくり”、そのために必要な『ふれあい』の機会を創るべく活動してまいります。

青年会議所が常に前向きで新鮮な青年会議所である為には、新たなる思いや志を持った新入会員の拡大が不可欠です。拡大・会員交流委員会が中心となり、全委員会・全メンバーのご協力のもと、新たなる『ふれあい』を求めて、15名の会員の拡大を目指します。また、当会議所の活動にご理解、ご協力をいただける賛助会員を拡大します。

そして、会員相互の交流はもとより、シニアクラブの先輩諸兄との交流であるOB合同例会、メンバーの家族ぐるみでの交流である家族例会を通し、こころの『ふれあい』を求めて事業を展開してまいります。

理事長所信のキーワードでもある『ふれあい』、まさしく拡大・会員交流委員会は人と人との『ふれあい』を創造する委員会であると委員会一同自負し、前向きな一歩を踏み出して頑張っておりますので、皆様のご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## ◎ 事業内容

- (1) 1月度第一例会 新年賀詞交歓会の開催
- (2) 2月度第二例会 拡大例会の開催
- (3) 5月度第一例会 OB合同例会の開催
- (4) 9月度第一例会 家族例会の開催
- (5) 11月度第一例会 次年度例会の開催
- (6) 会員・賛助会員の拡大

# まちづくり委員会事業計画

委員長 花澤 雅俊

---

## ◎ 事業計画

2005年度まちづくり委員会は、理事長所信に基づき“まちとのふれあい”をテーマに、世代を超えた交流を通して次代を担う子ども達に地域への愛着心を持ってもらう事と、地域の大人達との協力により社会を学ぶ場として交流とふれあいを深める事を目的に中長期的なまちづくりの調査、企画、実践を一年間の事業展開として行います。

そこで実際に世代の交流の場となっている“まつり”を題材に調査、企画を行っていきます。また実践として世代交流が活発になるように、子ども達が積極的に参加できる場を作り上げたいと考えます。

J Cメンバーが積極的に活動できるように、委員会メンバー全員で力を合わせて一年間まちづくり運動に邁進いたしますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ◎ 事業内容

- (1) 4月度第一例会の開催
- (2) 7月度第三例会の開催
- (3) 9月度第二例会の開催



# 総務・広報委員会事業計画

委員長 唐澤 貴

---

## ◎ 事業計画

2005年度総務・広報委員会は、総務として、東村山青年会議所の運営や事業が公正、適正かつ合理的に行われることを考え、メンバーの皆様の要望などを聞き入れて時代に応じた改善をしていきます。広報として、東村山青年会議所のメンバー同士のふれあいを深めることのできる情報発信をしていきます。また、JC運動について地域の方々に認識と理解をいただき、協力を得られるように、ふれあいの機会を増やしていきます。

委員会メンバー全員が一丸となり頑張って参りますので、よろしくお願ひ致します。

## ◎ 事業内容

- (1) 2月度第二例会「通常総会」の開催
- (2) 7月度第二例会「選挙例会」の開催
- (3) 8月度第一例会「臨時総会」の開催
- (4) 11月度第二例会「卒業生例会」の開催
- (5) 12月度第一例会「卒業式」の開催
- (6) 対内誌「egg」の発行(年3回)
- (7) 対外誌「八国山」の発行
- (8) 名刺・名簿・スローガン垂れ幕の作成
- (9) 卒業アルバムの作成
- (10) ホームページの作成・更新

# 青少年委員会事業計画

委員長 井上 礎幸

---

## ◎ 事業計画

青春時代、本来若者の特権であるはずの勇気や行動、そのような言葉を口にすることすら恥ずかしいことだと思っていたことがありました。しかし、今、現在、我々の役割は、自分たちの生まれ育ったその土地や風土を理解し後世に伝えること、そのために自ら考え、積極的に発言し行動することだと考えます。

かつては、子ども達が学ぶ場所として家庭や学校があり、さらにもうひとつ、「地域社会」がありました。しかし、今、地域における人間関係の希薄化、大人たちのモラルの低下などから、地域社会の教育力は低下していると言われていています。何よりも大切なことは、地域の大人たちが手を携えて子ども達を育てていく環境を作っていくことではないでしょうか。

2005年度青少年委員会では、地域の人々との関わり合いを大切にし、我々J Cの役割、家庭の役割、学校を含む行政の役割、そして地域の役割、それぞれの役割を認識し、お互いに相乗効果を生むような事業を展開して参ります。それらの事業を通じて、大人と子どもの「ふれあいの場」を提供して行きたいと思えます。

また、これまで東村山青年会議所の先輩諸兄、そして関係諸団体の皆様が築いてきた「わんぱく相撲東村山場所」、「東村山J Cカップ」では、心豊かな青少年の健全育成を図り、子ども達の成長を見守りながら感動を共有し、多くの大人が子ども達とふれあえる事業に行きたいと思えます。

青少年委員会メンバー一丸となって全力で頑張ります。皆様のご支援よろしくお願い致します。

## ◎ 事業内容

- (1) 3月度第一例会の開催
- (2) 5月度第二例会「第24回わんぱく相撲東村山場所」の開催
- (3) 第17回わんぱく相撲東京都大会への参加
- (4) 「東村山J Cカップ2005」の共催

# 指導力委員会事業計画

委員長 村越 久美子

---

## ◎ 事業計画

目的に向かい新しいアイデアで行動していく力、向いていないと思う事にチャレンジしていく心。それは、前向きな変化の創造。

青年会議所とは「自ら積極的に参加すれば、自己を磨き続けられる場」です。その恵まれた環境の中、私達指導力委員会では、自分を見つめ直し、お互いの個性を認め合い、人間的に魅力あふれる青年に成長する事を目標に、自己の資質を向上させる為の例会（研修）を通してメンバーと共に一年間学んでいきたいと思えます。また、研修を受けるだけに留めず、身につけた事を繰り返し実践する事で、各職場やまちの為・人の為・未来のゆとりある人生の為に貢献していきたいと考えています。

2005年度理事長所信に基づき、指導力委員会メンバー一同、行動の中に心のゆとりを持てる人に成長できる様、常に自己を高める気持ちを大切に取り組んでまいります。たくさん自分の可能性に気づく事が出来る一年にしたいと思えますので、どうぞ皆様温かいご指導・ご協力をお願い申し上げます。

## ◎ 事業内容

- (1) 2月度第一例会の開催
- (2) 6月度第一例会の開催
- (3) 10月度第一例会「新人例会」の開催
- (4) オリエンテーションの開催

## 副専務理事方針

副専務理事 荻野 健治

---

2005年度、副専務理事を仰せ付かることになりました。昨年度、初めて一年間を通してJC活動を勉強させて頂きましたが、未だ経験不足、勉強不足を痛感しております。今年度は理事という自覚を持ち、2005年度スローガン「未来に向けてきずこう！ふれあいのまち」という小島理事長の理念をよく理解し、小山専務理事、恵面副専務理事兼財務担当と協力し、東村山青年会議所の円滑な運営・担当事業の成功に努力させて頂く所存でございます。

また、皆様にご迷惑をお掛けする事なく、与えて頂きました責務を全うし、私自身、価値ある一年間にしたいと思っております。どうかご指導、ご協力の程宜しくお願い申し上げます

## 副専務理事兼財務担当 方針

副専務理事兼財務担当 恵面 晋文

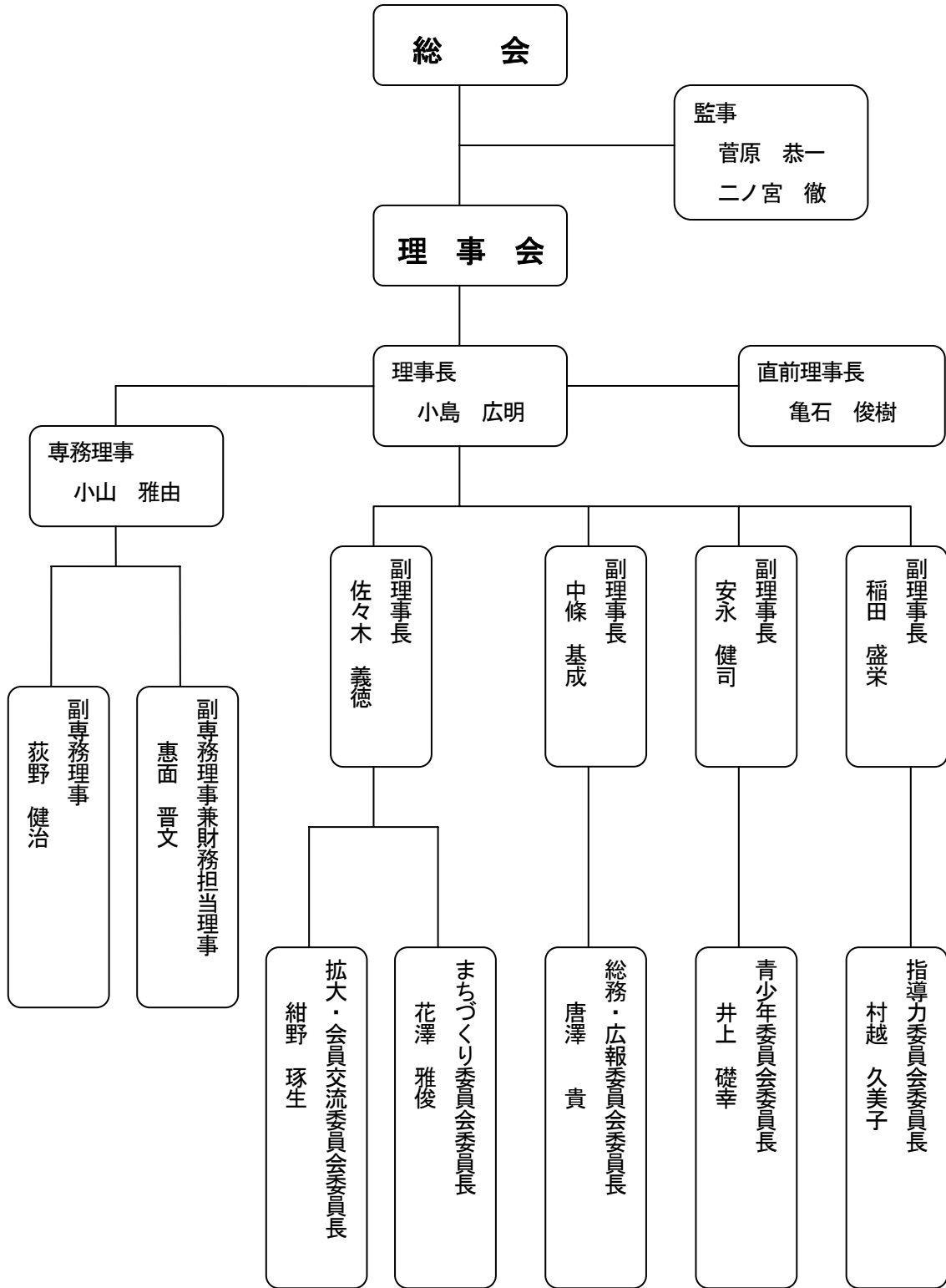
---

2005年度、副専務兼財務担当理事を務めさせて頂くことになりました。本年は、小島理事長を先頭に、「未来に向けてきずこう！ふれあいのまち」のスローガンを旗印に青年会議所ならではの行動力を発揮してまいります。私は、小山専務理事、荻野副専務理事とともに小島理事長の理念の実現に協力していきます。

また、財務担当理事として、管理財務に努め適正な収支を心がけます。そして、4LOM合同例会事業担当として、清瀬青年会議所、小平青年会議所、東大和青年会議所との事業の成功に向けて努力してまいります。

青年会議所メンバーとして、勉強不足・経験不足を痛感する毎日ですが、このような機会を与えて頂きました事を皆様に感謝し、一年間努力して行く所存でありますので何卒よろしくお願い申し上げます。

東村山青年会議所 2005年度組織図



## 2005年度 委員会構成メンバー

委員会	委員長	副委員長	運営幹事	委員
拡大会員	紺野 琢生	鈴木 勝実	谷村 武史	及川 弘晃 榎本 弘容 金沢 伸也
まちづくり	花澤 雅俊	森 聡	畠山 盛久	荒野 晃成 野澤 良和 青柳 宗親
総務広報	唐澤 貴	田中 英明	片柳 健二	木下 三郎 吉木 久一 吉本 亜希子
青少年	井上 礎幸	溝井 裕之	宮崎 真吾	肥沼 由美子 飯田 能士 久野 智弘 本田 浩一
指導力	村越 久美子	山本 正	和賀 由美子	青木 智憲 工藤 靖明 野田 数 福原 茂統 早川 真 佐々木 清 佐藤 広典

## 出 向 者 一 覧

### 日本青年会議所

経営資質向上委員会	委 員	亀石 俊樹
道徳力創造委員会	委 員	佐々木 義徳
サマーコンファレンス運営特別委員会	委 員	森 聡

### 日本青年会議所 関東地区 東京ブロック協議会

教育政策委員会	委 員	井上 礎幸
研修システム委員会	副委員長	村越 久美子
	委 員	金沢 伸也
	委 員	鈴木 勝実
	委 員	吉本 亜希子
	アカデミー研修委員会	副委員長
会員大会運営委員会	委 員	青柳 宗親
	委 員	片柳 健二
	委 員	谷村 武史
	委 員	福原 茂統
	委 員	本田 浩一
	副委員長	恵面 晋文
	委 員	安永 健司
24LOM連絡会議	幹 事	荻野 健治
LOM支援サービス委員会	議 員	小山 雅由
	委員長	中條 基成
	幹 事	田中 英明